

(前頁からの続き)

- ◆ビール券とテレカが多く集まった。21本@1000円くらいが新たに追加できる。今更商品追加は問題になる可能性あり、抽選終了後に敗者復活戦を設定して追加分を活用する。
- ◆肉の件、婦人会は10kg使用する。(カレー、焼きそば用として武田さんをお願い)
- ◆ちらしのイラスト(石井さんが10/10までに準備) :
- ◆第5地区宣教委員会報告
9/9大船にて第2回目開催、内藤、小野寺両氏が出席。
◆司牧評議会報告、一粒会報告は無し。
◆藤沢：平和のための祈り8/25開催、13の教会が参加した。
◆白百合：8月12日の平和句間ミサに1300名が参加。
◆藤沢：教会の周辺にホームレスの人が多く、受け入れるのが教会の本来の姿との原点に立ち、パトロールからスタートして、個人名で呼び合う中にまできた。教会に5名の方が定住している。(全体で40名程度?) シャワールームを設置した。
◆大船教会は幼稚園があるので、無理かとの感触
◆平和句間ミサの2002年度は第5地区が当番、準備委員会が発足の予定。
- ◆湘南短期セミナー(小野寺先生)
◆全体テーマは「愛と幸せを求めて」
◆日程は1週間ずれて11/24,12/1,12/8
11/24：晴佐久昌英神父「ダメな親でもだいじょうぶだよ」
11/01：シスター景山 あき子「命と向き合って」
12/08：国連ボランティア名誉大使 中田武仁氏「演題未定」
註1：6候補あり、大船の委員会が決める予定
註2：息子さんがカンボジアで殉職されている。
来週には、チラシが届く予定
- ◆赦しの秘跡：日程として12月は無理か??
◆可能性1)森田神父様に打診中
◆可能性2)勝手に他の教会に行く、または普段、山崎神父様をお願い。
◆可能性3)12/24の上杉神父様をお願いする。
- ◆クリスマスのミサ開始は午後7時とする
- ◆9/15の一粒会大会報告@山梨：
◆参加者は概ね「よかった」との印象
◆岩崎さん：いろんな教会の人がバスで乗り合わせ、交流が出来た。会場の音声/マイクが非常に悪かった。いいお話だったらしいが、良く聞こえなかった。
◆位田さん：招命に関するソソ神父様の話が印象的だった

壮年会だより

<10月21日(日) 12名出席>

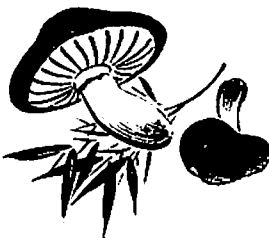
- ◆委員会報告(10月度)
別項参照。
- ◆議案
◆11月の聖書朗読 11/4 七浦さん 11/25 橋さん
- ◆バザー委員会報告
◆バザー券の賞品に、敗者復活賞を設ける。
◆焼きイカ用のドラム缶、適当品が見つからないため、現行品を手入れして使用。

ミサ当番表 (2001年11,12月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
11/4	年間第三十一主日	壮年会	森田	12/9	待降節第二主日	青年会	岩淵
11/11	年間第三十一主日	青年会	保科	12/16	待降節第三主日	婦人会D地区	森田
11/18	年間第三十一主日	婦人会C地区	岩淵	12/23	待降節第四主日	壮年会	保科
11/25	王であるキリスト	壮年会	森田	12/24	主の降誕(夜)	壮年会	岩淵
12/2	待降節第一主日	壮年会	保科	12/30	聖家族	婦人会D地区	森田

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏:TEL 802-6258)迄お申し出下さい。

- ◆バザーへの対応
◆10/27(土) 10:00~会場準備と買い出し
◆販売の責任者
■焼きそば 下村さん
■焼きイカ 宮崎さん
■焼き鳥 七浦さん
■飲み物 萩原さん
- ◆会場準備と当日の手伝いに関して、連絡網で流す。
- ◆自由議題
◆チーズ工場見学旅行について
計画案作成し、検討した、継続検討する(神奈中バスを借りることも検討)
- ◆一粒会大会について報告(宮崎さん)
- ◆湘南短期キリスト教セミナーについて(小野寺さん)
- ◆オーストラリア(タスマニア)の感想(宮崎さん)
- ◆開かれた修道会(多くの方が利用できる様になってきた)について(小野寺さん)



婦人会だより

<10月21日(日) 30名出席>

- ◆委員会報告(岩崎)
- ◆婦人同志会より(阿部)
①黙想会:11月29日(木)カトリックセンターにて
指導司祭 東京教区・岡田大司教
②歌舞伎鑑賞会:12月6日(木)
「三人吉三」 チケット8200円
参加希望の方は阿部映子さんまでお申し出ください。
- ◆「区民クリスマス」(阿部)
12月22日(土)午後4時から
プロテスタントなど他教会と交流するよい機会です。
多数ご参加ください。
- ◆台所シンク取替えについて
10月18日に取付け工事が終わりました。
高さやシンクの深さなどについて不都合というご意見もありますが、工夫をしながら使っていきたいと思っております。
なお、レンジ台の方も老朽化しているため、この際予算等も検討しながら交換の方向で考えていくことになりました。
- ◆バザー関連
①値段つけは10月18日多数の方のご協力が無事終わりました。
②バザー前日(27日)の準備は午後1時から始まります。
③バザー当日(28日)の作業は朝7時から始まります。
売り場担当の方は、赤ペン、電卓、エプロン、タオルなどご持参ください。
④当日和菓子と抹茶のコーナーもあります。ご利用ください。
- ◆御願い
今年度の会費未納の方は納入してください。
次回例会は11月18日(日)、次回当番はC地区です。

広報 なかわだ

第274号

11月の予定

バザー	11月26日
委員会	11月 4日
壮年会、婦人会	11月 18日
サロン	11月 11,25日
レジオ	11月 9,16,23日



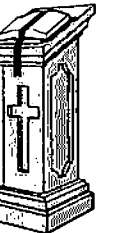
2001年11月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
平成13年11月4日



この頃のこと ①

山崎正俊



入院のどれほど前のことか、月修のときの報告の言葉があまりにも早口であったので、私にはあまり聞き取れず、理解しにくくなっていた。そして、昨年の4月17日に突然足がもつれて歩きにくくなった。でも、たいしたこともなく、近くの病院に車で御聖体を持って行って帰ってきたら、一緒に見舞に行ってくれた元看護婦長をしていたことのあるお方が、私の歩き方を後ろから見ていて、知り合いの外科医の診察を受けた方がよいと言ひ、その翌日、国立病院に入院させられることになった。

そうすると、体の左側が不自由になり、肩も指も膝も足首も調子が変わり、右側も用心しなければならず、歩行機にすがって廊下を歩くようになった。それから、夜、ベッドに手をつきそこなって転び、背骨の弱腰を痛め、二週間もかけてコルセットのお世話になることになった。

リハビリの歩行訓練でも、膝の痛みは退院後のいまもとれないが、ステッキをたよりにすれば、だんだんと楽に歩けるようになりはじめています。はじめての入院だったこともあって、わからないことも多く、いろいろと困ったこともあったが、いまでは笑い話もできるようになった。神様は何を求めておられるのかと、涙もろくなったのは不思議なことだ。――奇妙なことに、83歳も終わりになったのに、いますこし生きていたいと思う。

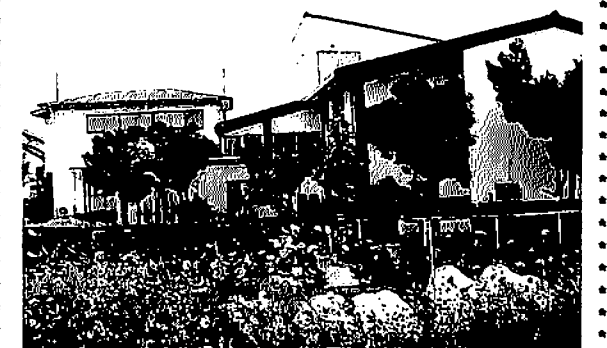
この頃、遅すぎるのだが、イエズスさまのお働きは、マリアさまやヨゼフさまのお支えがあったからのことではなかったかと思ひはじめています。あそこに私たちの模範がある。それをたしかめたい。

(10月17日)

地主さんの好意で、教会の東側のフェンスのあちら側が耕されて、いろいろな野菜がつくられ、溝川の向こうはコスモスや菊が咲き誇っている。私のために、今、巾の広い板の橋ができて、その先に、1メートルほどのクイが何本か打たれ、モノホシザオがテスリのように作られ、私でも気楽に行けそうな広場ができた。実はその前日に、畑作りをしていたおばあちゃんの孫さんが、私をそこにさそってくれたのに乗せられて、川を渡り、左手を支えられて2メートルほどの坂を登って、花の間で写真に写ったりしたのに、帰りの降りはゴザに坐って大ソウドウであったのを見て、今日は手を打ってくれたのだ。

私たちの野菜作りは昨年からだったようだが、20年くらい前から聞いていた話では、市営の第3号道路の予定地であったのに、予算の都合でそのままになっていたのを近所の人たちが利用して、農作業をしている空き地を使わせていただいているのだ。有り難いではないか。教会の庭のマリアさまの聖像前の花壇がそちらに延びて、ミカンの木も植えられたりしている。幼児たちは大声で歌い走りまわり、みんなでお弁当をいただいたりして、遠足の気分を満喫している。

(2001.11.4)



花咲く広場から見た教会



橋 幸雄

ある環境会議で某コンサルタント主幹と懇話になり、色々な話をしているうち、コップに入ったお冷から、話が拡大 是非多くの人にこの話を伝えてほしいとの依頼を受け、記述します。

20世紀は「石油の世紀」と言われた。石油の利用技術の飛躍的な進歩により石油争奪の争いが繰り返された。そして石油を中心とする化石燃料を一部の先進諸国が使いすぎた事により、地球温暖化の問題が発生し、環境問題が表面化することとなった。

21世紀は「環境の世紀」と言われている。地球を人類が住める環境に遅まきながら着手しようとするものでフロン・ハロンのオゾン層、熱帯雨林、地球温暖化・海水位上昇等。先ずは資源の分別回収リサイクル、一酸化炭素総量規制、フロン・ハロン回収・自動車排ガス規制等が実行されつつあるが、京都議定書など足並みの乱れが生じてきている。

さらにもう1つの提言がある。それは水である。石油に対して21世紀は「水の世紀」とよばれる。20世紀の石油紛争に対して21世紀は水を求める紛争の危険性・危機感が現実となりつつあるからである。

私は水に対しては個人的には嫌いである。これは職業柄、水によって色々な苦勞をおおされ自然の力に屈服した、水の相対的力に対応できなかったからである。確かに地下40m空気圧で水を排除し水圧に対応する壁・床を作り現代技術をもって対抗してきた。しかし過程においては水の噴出・壁の崩壊など自然の水圧には泣かされている。また最近では環境ISO14000による、環境保全に伴う自己規制・国、自治体による汚濁排水等の規制等も厳しくなるばかりで水にはほとんど手を焼いている。余談はこの程度として

水に関する大きな問題は 水不足・水質汚染・洪水であろう。世界各国で水不足が深刻である。人口増加による食糧確保のための灌漑や畜産のための水、産業活動のための水、生活のための水、水の需要は毎年加速度的に増すばかりである。だが使える水はとなると・・・

地球の70%は水で覆われている。量では14億立方メートル、そのうち淡水は2.5%である。淡水のうち氷山などを除いた人類が使用できる水は国連の調査によると0.007%となっている。

1950年と比べると水の需要は3倍にのびている。現在地球人口の30%31カ国が絶対的な水不足に悩んでいて、あと20年経つと、地球人口の50% 50カ国で絶対的な水不足が発生する事になる。そして紛争が発生する。

アメリカ人の1日の水の使用量は600リットル、アフリカでは10～100リットル。アジアでは8億の人が衛生基準に満たない飲料水を使用し、20億の人が水不足の為、衛生設備を使用できない。イスラエル占領下のパレスチナでは水道が2週間に1度、イスラエルでは子供がプール遊び、水の管理権がイスラエルにあるからである。ナイル河流域ではエジプト・スーダン・エチオピアの間でイスラエルと同じ反目が発生している。隣国の中国の天津市では水不足の為、市内の洗車業・浴湯業の営業停止をはじめている。

そして確実に水質の汚染が進んでいる。途上国での病気の原因は80%が汚水。世界人口の半分は下水が無い。河川に放流する。世界の飲料水の3分の1は地下水に頼っている。地下の自浄作用が地下水くみ上げの速度に追いつかず、汚染水が地下水に混入している。また東南アジアでは地下水位が何十メートルも低下し、地下水に海水が混入し始めている。現状である。

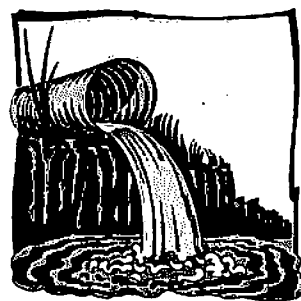
日本における水の安全性は世界各国とくらべて群を抜いている。飲めてあたりまえの水道水。それでも最近では臭いとか、塩素混入とかでミネラルウォーターの販売が好調との話がある。しかし日本においても水不足・洪水は毎年あり、近年はとくに激しいように感じる。これは世界的に見ても同様であり、地球温暖化に起因する気象メカニズムの破壊が原因とされている。

世界規模の水不足は農業生産量の低下を招く。日本は食料の自給率40%の国であり130%台のアメリカやフランスとは状況が異なり、世界の水不足は日本への食糧危機となって表れる。

水の枯渇と汚染の危機が世界的に拡大している。神が作られたこの世界が人為的要因によって、破壊へ向かおうとしている。われわれには何が出来るのだろうか。水なくして生きられる生物はいない。生き物すべてにとって必要不可欠である水。石油以上に壮絶な争いが起きないために。私たちは次世代に住みにくい環境を残し、次世代が使う分の資源を奪っている。神が造られたこの綺麗であった地球。われわれは何かしなければ、水を汚さない・水の使用を抑制するなど個人では小さい事からでも始めないと。

技術は確実に進んでいる。下水処理技術、淡水化プラント等、先進諸国では河川・湖水の浄化が急速に復元しつつある。あとは地球人類40億一人一人が水というキーワードを創意工夫・努力することによって、きれいな地球を水を取り戻す。

技術は確実に進んでいる。下水処理技術、淡水化プラント等、先進諸国では河川・湖水の浄化が急速に復元しつつある。あとは地球人類40億一人一人が水というキーワードを創意工夫・努力することによって、きれいな地球を水を取り戻す。



「泉区民クリスマス」(仮称)のご案内

石井 三雄

泉区(横浜市)には現在五つのキリスト教会とYMCAの施設及びプロテスタント系の幼稚園がありますが、同区に在住する指揮者(永見 富久好:日本キリスト教団会員、現在二つのコーラスグループを指導)から泉区の住人を対象とした「区民クリスマス」を合同で開催したら如何なものかと言う提案がありました。早速この趣旨に賛同した教会、団体の関係者が集まり、最初の会合を5月25日に開催し、その準備に入りました。

実行委員会メンバーは日本同盟教団:白百合福音教会、日本ホーリネス教団:横浜いずみキリスト教会、福音キリスト教会連合:横浜緑園教会、カンバーランド長老教会:泉教会、YMCA山手台センター、宮ノ台幼稚園、そして中和田カトリック教会です。(順不同)

また山崎神父様はこの趣旨に賛同され、実行委員会と連合聖歌隊(約55名)練習の為に中和田教会の利用および当日のオルガン使用に関しての許可をこころよく出されました。

会場に関しては、最も希望していた泉公会堂を確保することができました。また公会堂の場合、宗教的行事は出来ないことになってはいますが、指揮者から今回の趣旨及び内容の事前説明で聖書朗読、説教、および会堂内での寄付行為など、館長の了解を受けています。

日本人々が身近に感じ、受け入れている年中行事の一つにクリスマス(降誕祭)があります。毎年11月の後半を過ぎる頃からクリスマスシーズンと称して街じゅうがこの準備に入ります。デパート、ホテル、飲食店そして公共の場所でも工夫を凝らしてデコレーションに力を入れます。なにか、国を挙げてクリスマスを祝っているようです。が、しかしそこには「主の御名」が存在しているのでしょうか。

「主の名によって集うところに主は居られる」

キリスト教徒が協力してこの事を証することは意義深い事ではないでしょうか。

お知り合いの方をお誘いの上ぜひご参加くださることを心からお待ちしています。

これまでに下記の内容が決まっています。

日時: 12月22日(土)	16:00~16:30	いずみ中央駅前で連合聖歌隊によるキャロリング。その後公会堂に移動。入場無料
	17:00~17:45	1部(ページェント)
	18:00~19:00	2部(各教会、団体の出し物)



委員会だより

<10月6日(日) 12名出席>

【1】財務報告:

01年9月度決算報告 ()内:01年度年間予算

	01°収入累計	01°支出累計	収支差額
一般会計	4,868,449 (6,073,380)	4,016,568 (5,297,000)	851,881 (776,380)
建設会計	1,583,070 (1,876,674)	461,250 (1,817,000)	1,121,820 (59,674)
愛の献金	609,538 (617,864)	204,049 (320,000)	405,489 (297,864)
信徒会計	444,694 (744,520)	228,369 (510,000)	216,325 (234,520)

>特記事項:

- ◆一般会計:
 - 火災保険料支払 ¥206,250 (10月20日から1年分)
 - 消火器点検手数料 ¥26,250
 - バザー準備金として信徒会会計へ口座振替 ¥200,000
- バザー終了後戻す

- 区民クリスマスの集い協力金として¥30,000支出
- 敬老会精算戻入 ¥-15,490 (実支出¥84,510)
- ◆建設会計:
 - 消火器購入¥68,250(資産的な物品は建設会計で処理)
- ◆信徒会計:口座振替分
 - 卓球大会戻し 一次分¥1,631
 - 二次分は10月度会計へ

【2】議事内容:

- ◎ 11月七五三のお祝い
 - ◆お祝い飴とおめだい 花坂さん準備
 - ◆該当者は来週掲示
- ◎ バザー委員会@10月6日の報告(福島さん)
 - ◆食品:「クッキー紅茶」に和菓子と抹茶を追加し、券をつくって販売する
 - ◆委託販売:施設手芸品を追加する(下村さんが面倒みる)。
 - ◆抽選方法:今年は抽選箱 前面を透明にする(公正感をアピール)。
 - ◆テーブル4脚購入済み
 - ◆台所シンクは中古品で適当なのがない。そこで118,000円新設するとして、全額婦人会で負担する旨申し出あり。

